



残暑お見舞申し上げます

病院長 多田 恵一

例年より、およそ2週間遅れで、ようやく7月30日に梅雨明けが発表されました。近年の梅雨は、従来、私たちが持っていた、「梅雨入り」「紫陽花が綺麗！」「梅雨明けだ」「夏が来た」…のイメージとは異質になり、経験したことがないような集中的な豪雨被害をもたらすのが梅雨というイメージになりました。7月中も、熊本の球磨川、山形の最上川の氾濫など、全国各地で大変な被害が発生いたしました。亡くなつた方々、被災に遭われた方々に謹んでお悔やみを申し上げます。

年初来の、新型コロナウイルスは、国境を跨いで伝播し、中国に続き、世界中に瞬く間に拡がり、「緊急事態宣言」などは解除されましたが、現在多くの感染者、犠牲者が続出、「経済減衰、経済崩壊」への不安、「医療崩壊への危機対応」なども相まって、国内外がかつてなく深刻かつ不安な夏となっています。皆様におかれましてはお変わりないことをお祈り申し上げます。

さて、春号でもご報告させていただいた通り、広島シーサイド病院は4月1日から介護医療院を開設し、地域の医療機関、自治体、福祉施設様などによるご指導によりまして、順調に運営が行われています。重度の要介護者を対象に、日常生活の医学的管理や療養に看取りなどの医療機能と生活施設としての機能を一体化した慢性期医療介護の新たな施設である介護医療院、皆様のご期待にお応えすべく、一層内容充実を重ねる所存です。

総人口の減少、高齢化の一層の進行により介護、在宅につなぐ個々の地域に根差した地域包括ネットワークの改革充実が一層求められていますが、一方、従来議論されてきた地域医療構想の病院再編、統合の議論に、このコロナ禍、感染症病床の問題も課題として浮かび上がっているようです。

新型コロナウイルスの現況は、ますます勢いを増しています。現時点では、当院も感染対策の一環として、ご家族の入院、入所者さまとの面会を原則禁止させていただいている。本当に心苦しいですが、患者様やご家族の安全の為は無論のこと、職員一同の安全のためにも何卒ご理解いただきたく存じます。

広島シーサイド病院職員一同は、この社会を”支えてこられた患者様、入所者様への大きな責任“を、コロナ禍にも打ち勝って、今後共一致団結し取り組んでゆきます。

今年も8月6日を迎えます。あらためて世界平和を祈りたいと思います。今後共ご指導ご鞭撻、宜しくお願ひいたします。そして、皆さま、くれぐれもご自愛されますよう。

《病院機能評価の受診と認定》

日本医療機構機能評価機構の病院機能評価(慢性期病院・評価項目3rdG:Ver2.0)を2020年2月20日・21日に受診し、認定を受けることができましたので報告させていただきます。

◆病院機能評価受診の意義

病院は、自院の理念達成や地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる質の高い医療サービスを効率的に提供するために、改善活動を推進しています。質の高い医療を効率的に提供するためには、病院の自助努力が最も重要ですが、更に効果的な取り組みとするためには、第三者による評価が有用となります。

病院機能評価は、第三者の立場で、組織全体の運営管理および提供される医療について評価を行い、病院の位置付けや問題点を明らかにします。このことにより、病院の更なる改善活動を推進し、病院体制の一層の充実や医療の質の向上に寄与しています。(日本医療機能評価機構HPより)

◆機能評価機構の評価内容

慢性期医療を担う機関として医療療養病棟・介護療養病棟、その他居宅介護支援事業、訪問看護ステーション等在宅サービスを一体が一体となって地域住民、特に高齢者の医療と介護の提供に注力していること、また、地域における当院の役割・機能を明確にし、連携機能を高め、地域医療に貢献していることを特に評価していただきました。病院職員全員が熱心に理念達成に向けた取り組みを行い、機能評価受診にあたり、早期から各部門の職員で構成した委員が「ワンチーム」として機能し、改善に向けて取り組んだ成果を評価していただき、多くの項目で水準に達しているとの言葉をいただきました。

◆病院機能評価を受診して

現状の客観的把握

改善すべき問題点が明確になりました。病院機能についての体系的な審査により、優れている点や改善すべき問題点が評点と評価所見により、病院の現状を客観的に把握することができました。

改善のきっかけづくり

評価を受けるための準備が改善のきっかけとなりました。受審申込み後に開始される書面審査の調査票を作成し、自己評価等により訪問審査に向けた準備を進めることそのものが、医療の質の向上と効果的なサービスの改善につながりました。

職員の自覚と改善意欲の醸成

第三者から指摘されることにより、問題点について共通した認識を持つことができ、管理者も各部門の現場も改善意欲が向上して主体的な取り組みを行うことができました。

改善の方向の明示

審査結果報告書には問題点が指摘されるとともに、その改善の方向も示され、改善に向けた方策について各部門で討議し、更なる医療の質の向上に取り組んでいます。

新ドクター紹介

今年、7月1日より医局の一員となりました

した清平国主です。卒業して30年のうちほぼ半分は救急病院での勤務で、近年は週一日だけ開業病院で上部下部内視鏡や腹部超音波などの検査と一般外来診療を行い、療養病床病院での診療にも従事しておりました。私は転勤にあたり確認しておきたいことが一つだけありました。受け持ちとなる入院患者さんとご家族に“最後までシーサイド病院で診させて頂きます。”と言ってよいかということでした。“それはこの病院が日頃より心掛けている基調となる姿勢だ。”という心強いお言葉を頂きましたので、迷うことなくお世話をすることを決めました。これからは急性期病院の治療継続の受け皿として、そして患者さんの人生最後の主治医として奮闘努力していく所存でございますので、どうぞ宜しくお願い致します。



●コロナ感染防止×熱中症予防

6月には一度感染が落ち着いた新型コロナウイルスですが、7月から再び増加し緊急事態宣言の頃を上回るペースで感染が拡大しています。しっかり感染予防をしながら、夏場を健康に過ごせるようにしましょう。

コロナ感染防止のポイント 「3密」を避ける

次の状況は感染リスクが高まりますので、避けて生活しましょう

- 多数があつまる密集場所
- 間近で会話や発声する密接場面
- 換気の悪い密閉空間

熱中症注意 マスク着用により、熱中症のリスクが高まる

マスクを着けると皮膚からの熱が逃げにくくなったり、気づかぬうちに脱水になるなど、体温調節がしづらくなってしまいます。暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症予防」とマスク、換気などの新型コロナウイルス感染防止の生活を両立させましょう。

○屋外で人と2m以上(十分な距離が)離れている時にはマスクを外しましょう。

○マスク着用時は、激しい運動は避けましょう。また、のどが渴いていなくても、こまめに水分補給をしましょう。高齢者、子ども、障害者の方々は熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。

コラム
「医療・介護の鳥瞰」
リハビリセンター長 松田 誠

オンライン診療で医療界は変わる

現在の新型コロナウイルスにより医療界に劇的な変化が生じています。スマートフォン等を使ってオンライン診療で初

診も含め、処方箋も配達で受け取れる事ができるようになりました。新型コロナウイルスの院内感染や医療崩壊を防止することが狙いで、今までにない診療方法になるのではないか。もちろん医師としては、視診、聴診、触診等十分な診察ができないことと、検査等が出来ない為診断が十分ではないことは分かりますが、まずは新しいやり方としては、今後に役立つことになると思います。その為にも時限措置後、まずは継続診療から始めるのが良いと思います。そこで信憑性が十分と分かれば、初診を含めて検討していく価値があります。

このことは、医療界にとって大きなインパクトとなりえます。例えば、建物も含め医療機関をコンパクトにすることが出来、初期投資が少なくて済みます。又、複数の患者を診療できる機会があります。一方、患者側にとってもわざわざ医療機関に行かなくともいいことは時間の節約になります。また、これが一番重要なことです、僻地医療の考え方方が大きく変わってしまう。医師確保の問題や医療機関の存続の為の財政支援も要らなくなります。無医村になくなりますが、町村における医療崩壊にもつながらなくなります。また、訪問看護事業所とオンラインで連携できれば医療的処置も可能となります。さらに市町村で行う健康診断とまとく連動させることができれば、問診、一般検査、レントゲン撮影、胃カメラ等も含め、より細かな患者情報を得ることで疾病診断も可能になります。このように複数機関における連携で健診等の検査データや、病歴、服薬歴などの情報の共有化ができれば、今までにない医療になるのは間違いないでしょう。その為にも健康保険証のIC化も必要になると思います。

現在では、個人情報等の問題があり、そこまでのことは出来ないが、IC化で医療機関の重複検査や薬の重複投与の問題も解決できるし、他科の疾病歴や情報が分かれれば、より詳しい診断も出来、情報も時系列になり分かりやすいものになります。医療費の抑制やレセプト審査の効率化、また現在問題になっている健康保険証の貸し借り問題も解決できます。そのためにも、オンライン診療を検証し、健康保険証のIC化、患者情報の一元化を出来るだけ早期に導入できる体制を構築していく必要があると思います。

オンライン診療を行うには高齢者の方々がスマートフォン等を持っていないと行えないという問題もありますが、それに対しては、今まで通り現状の医療機関を受診するという手段をとり、僻地医療に限っては、町村の役場や集会所などに通信設備を配置し、町村の職員や保健師、看護師がオンライン診療の補助として活用していくことはどうでしょうか。そのことで、財政基盤が脆弱な町村保険者の財政負担軽減にも一役買ふことができると思います。

このように目まぐるしく変わる医療界、当広島シーサイド病院もこれからの医療変化についてでも対応できるように準備を進めていく必要があると思いました。

元字品紹介 元字品の地層



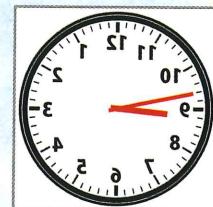
方状節理…マグマが冷えて固まる時に岩石が収縮して出来る規則的な割れ目で地表に露出してから風化が進み割れ目が明瞭となりサイコロ状になっている。

元字品はもともと一つの島で、恐竜が栄えていた約8500万年前(中生代白亜紀)にマグマが地下深部(約10~15km)で、ゆっくり冷えて固まった広島花崗岩(日本最大の花崗岩体)で造られています。元字品には、過去の地震発生の証拠もある断層や破碎帯が多数見られます。また海面から約3mの高さには、海食洞や海食崖という浸食地形が観察されます。この地形は、海平面が3~5m高かった縄文時代前期(約6000年前)に形成されたと考えられています。上の写真のように海の侵食をうけたるところで地層が露頭していて、所々に案内柱が建てられ、地層についての名前と説明文が記載されています。

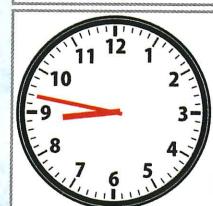
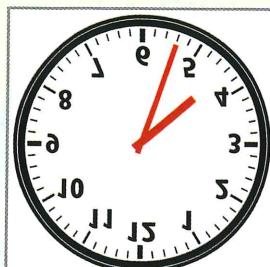
今、何時??鏡の中の時計を読んでみよう!

次の時計は鏡に映った時計です。制限時間はないので、苦手でもあきらめないで考えてみましょう!

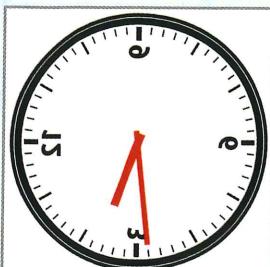
例題



問題1



問題2



*答えは裏表紙(頁下部)⇒

♥信頼される医療・福祉をめざして…

■基本理念

◎常に患者様とご家族の立場に立って行動し、医療・保健・福祉の分野で連携充実を図り、地域のニーズに応えるよう、職員一同頑張ります。

外来案内のご案内 休診日／土・日曜日、祝祭日、盆、年末年始

●内科・リハビリテーション科・放射線科

診療時間	月	火	水	木	金
9:00~11:30	荒巻	上杉	池田 沖田	山本	上松瀬 清平
13:00~16:00					

●脳神経内科

診療時間	月	火	水	木	金
9:00~11:30	湯川	湯川		湯川	

医療法人 和同会

広島シーサイド病院

診療科目／内科・脳神経内科・リハビリテーション科・放射線科

医療療養病床183床・介護医療院147名(定員)

〒734-0012 広島市南区元宇品町26-20

TEL (082) 255-1010 FAX (082) 255-6826

<http://www.ss.wadoukai.jp>

- 広島シーサイド病院 介護医療院 TEL (082) 255-1010
- 通所リハビリテーション TEL (082) 252-2781
- 訪問看護ステーション ハローナースシーサイド TEL (082) 255-1424
- ショートステイ元宇品 TEL (082) 255-1221
- グループホーム元宇品 TEL (082) 255-1239
- デイサービス元宇品 TEL (082) 255-1271
- 元宇品居宅介護支援事業所 TEL (082) 255-1422

■基本方針

◎信頼され、安全性の高い医療サービスを目指すため、職員の研鑽と協調に努めます。

◎患者様、ご家族、職員がお互いに尊重し合い、ともに喜び、生きがいがもてるようチーム医療を推進します。

◎地域に根ざした、住民とともに歩む病院を目指します。

◎病院の質を高め、健全経営に努めます。

◎職業を通して、社会人としての豊富な人間性を養います。

●ごあんない



●バス／広島バス21号線（宇品線）シーサイド病院入口バス停より徒歩5分

●電車／広島電鉄宇品線元宇品電停より徒歩10分

●タクシー／広島駅より元宇品方面へ約30分

【脳の若返り】答え

問題1……4時27分



問題2……2時16分



編集後記

前号発刊は新型コロナウイルスの緊急事態宣言が出ている真っ最中でした。6月に入り一旦落ち着いたかと思えば、7月以降、感染が急激に拡大し、現在も私たちの不安な日々が続いています。新型コロナウイルスの影響で、人の移動が制限された中で現在、多くのことがオンライン化しています。それは、パソコンやインターネットを使って完結する仕事だけでなく、人と人との接触が欠かせない病院の診療にも広がっています。また、大学の授業や子供の習い事もオンライン化し、他にもオンライン会議、オンライン飲み会、オンライン就活…今後は更にいろいろなことがオンラインで行なうことが当たり前になるのでしょうか。現在、当院も再度面会を制限せざるを得なくなり、患者さま、ご家族には大変ご迷惑とご負担をおかけしておりますが、オンライン面会という形も今後は必要になるかもしれませんと思いました。

さて、新型コロナ除けとして話題になった「アマビエ」をご存じでしょうか。アマビエは江戸時代に九州地方に予言獣として出現、アマビエの絵を見せば豊作になり疫病除けにもなるという話が瓦版で出回ったというのですが、それを現代ではアマビエを書いたものをSNSなどで投稿するのがブームになりました。科学や医療が未発達であった時代、抗いがたく蔓延する病気に人々は藁にもすがる思いで、予言獣の言葉に救いを求めたのだと思います。科学的な医療の知識が広まるにつれて、現代では、細菌やウイルスといった病の原因も比較的すみやかに突き止められるようになりましたが、病そのものに対する不安は今も昔も変わらないようです。一刻も早く不安な日々から抜け出せるようにシーサイドニュースにもアマビエを載せて「疫病退散」を祈願したいと思います。

(編集N)

